

令和5年度 病害虫防除情報

令和5年8月29日
発表：福島県病害虫防除所

秋期防除を徹底し、越冬菌密度の低下を図りましょう！

- 1 対象作物：モモ
- 2 病害虫：モモせん孔細菌病
- 3 対象地域：中通り

発生状況等

- (1) 8月中旬の新梢葉での発生ほ場割合は、福島地域では平年並、伊達地域では平年より少ないものの、中発生ほ場が確認されています。また、両地域とも8月上旬に比べ8月中旬の発生ほ場割合が増加しています。(図1)。
- (2) 天候予報(仙台管区气象台 令和5年8月24日発表)によると、向こう1か月の降水量が多い確率は40%と予想されており、今後、新梢葉での発生が増加するおそれがあります。

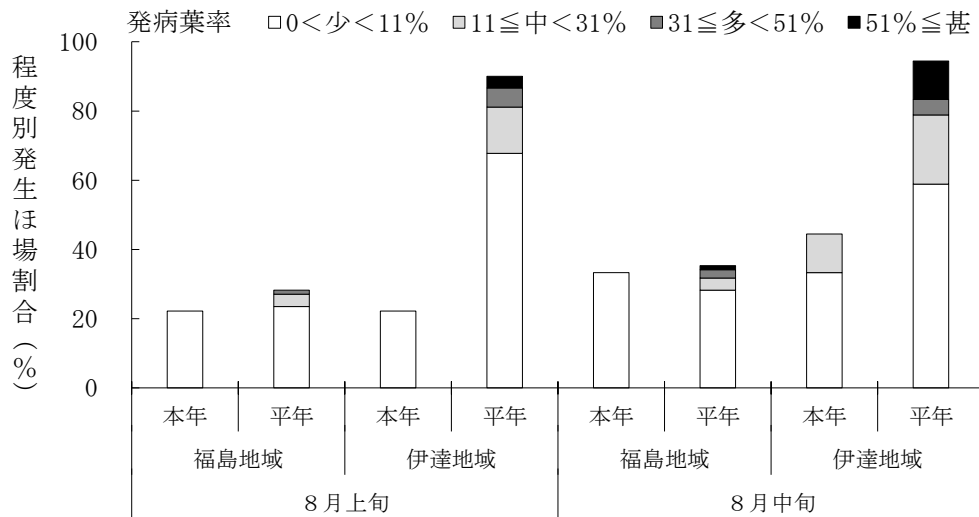


図1 新梢葉におけるモモせん孔細菌病の発生状況(8月)
調査地点：福島地域9園地、伊達地域9園地

防除対策

(1) 秋期防除の徹底

本病は、秋期に降水量が多いと、翌年の春型枝病斑の発生が多くなる傾向にあります。9月上旬以降、2週間間隔で無機銅剤による**秋期防除を3回実施しましょう**。なお、晩生種・極晩生種(「ゆうぞら」、「さくら」等)は、収穫終了後、速やかに防除を実施しましょう。

台風等強い風雨により、落葉痕からの感染が多くなるため、降雨前の予防散布を徹底してください。また、**高温時の散布は薬害を生じる可能性があるため、注意してください**。

秋期防除を実施する前には、あらかじめ秋季せん定を実施し、薬液がかかりやすいようにした上で、丁寧な散布を心がけましょう。また、1回目の防除以降に散布ムラを確認し、必要に応じて秋季せん定を追加で実施しましょう。

(2) 物理的防除等の実施

本病は、風当たりの強い園地で発生しやすいため、防風対策が重要です。防風ネットを既に設置している園地では、台風の発生の多い季節に備え、防風ネットを展張し、点検・補修を行いましょう。防風ネットを設置していない園地では、次年度に向けて設置を検討しましょう。

樹勢の弱い樹で発生しやすいため、肥培管理などにより樹勢の維持を心がけましょう。

- 情報内容への質問は、福島県農業総合センター安全農業推進部発生予察課(病害虫防除所)まで御連絡ください。本情報は、病害虫防除所ホームページ

(<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>)でもご覧になれます。

TEL 024-958-1709 FAX 024-958-1727